

6月5日（木）新宮市集会・2025年原水爆禁止国民平和太行進



日本政府は禁止条約の署名・批准を!!



金田眞さん、金田さんのお孫さん、田岡市長、三栗議長

6月5日木曜日。新宮市の平和行進です。和歌山ー広島コースの最後の自治体となります。市庁舎前の駐車場での出発集会です。集会の進行は増田弘さんです。最初、原水爆禁止新宮東牟婁協議代表理事の金田眞さんが挨拶します。田岡美千年新宮市長が「世界平和に向けての核兵器の全面禁止と廃絶の願いは、今や世界に広がり、大きな高まりを見せております。しかし世界各地では武力による紛争が絶えず、今もロシアによりウクライナ侵攻がおこなわれ、国際社会の安全と平和が脅かされています。地球には人類を絶滅させるほどの大量の核兵器が蓄積、配備されております。こうした状況の中にあっても、唯一の被爆国である我が国の果たすべき役割は極めて重要であり、核兵器廃絶と平和社会の実現に向け、皆様が粘り強く行われている平和行進という行動を心から敬意を表するものであります。」と激励の挨拶をされます。新宮市職員の方々も10名近く参加しています。新宮市議会三栗章史議長からも「核大国ロシアによるウクライナへの侵略、またイスラエルによるガザへの攻撃、世界の各地で武力による紛争が絶えず、国際社会の平和と安全が脅かされ、危険な悪循環が世界を分断して平和を脅かしています。」と連帯の挨拶があります。次いで、県実行委員会から平和行進参加者が900となった事、また県内全市町平和行進が1979年に高野山より出発した事、当時50市町村を通して歩いたのが新宮出身更家元原水協事務局だった事。今日、そのひ孫さんも参加してくれています。とても嬉しいです。」と挨拶しました。そして、わかやま市民生協の通し行進者山本力羽介さんが決意表明をします。「集会宣言」が新宮市職の中西さんより読み上げられます。最後、参加者で「青い空」を歌います。いよいよ平和行進です。宣伝カーが先導し、続いて平和行進の横断幕が歩きだします。駅前大通りを東に向けて行進し、新宮市のアーケード商店街「仲之町」を通り抜け、42号線に出て、西進して市役所へと戻って来ました。集会参加者は47名です。累計の参加者は900人となりました。6月8日日曜日、平和行進の横断幕を三重県紀宝町の三重行進団に引き継ぎます。 県事務局。